ランピースキン病の感染拡大防止！

2026年11月1日に、**国内で２年ぶりに発生**が確認されました。

牛の伝染病で、主に**サシバエ等の吸血昆虫が感染を拡大**するため、昆虫対策が重要です。また、通報が遅いと考えられる事例が確認されています。疑わしい場合、すぐに通報することが大事です。

MAFF 農林水産省

対策１　毎日の健康観察

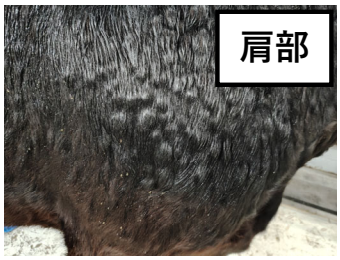
早期発見・早期通報により、被害は大きく低減します。
丁寧に飼養牛を観察するとともに、**疑わしい牛は直ちに通報**しましょう！

疑わしい症状

食欲減退、発熱、
歩様異状、皮膚の結節
泌乳量の低下

最寄りの家畜保健衛生所に通報！







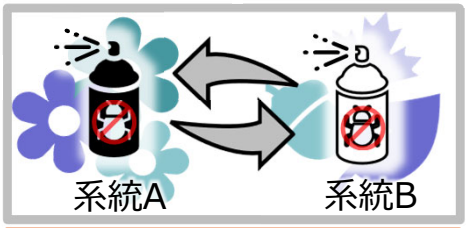
対策２　害虫の駆除

成虫対策と幼虫対策は両方行いましょう！

成虫対策には、**殺虫剤**ローテーション！**防虫ネット**の設置！



サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！



殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！





地面や床から２mは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！

幼虫対策には、**堆肥**等の管理！**IGR剤**の散布！

堆肥の切り返しは
隅々まで！

牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
子牛のいる牛床にIGR剤を散布！



対策３　清掃・消毒

車両や人がウイルスを運ばないように、出入りする際の**洗浄・消毒**！
車両は殺虫も！**注射針、人工授精用器具**等の**一頭ごとの交換・消毒**！

写真協力：鹿児島県内酪農家、(独)家畜改良センター宮崎牧場、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エランコジャパン株式会社